

製品一覧					
	製品名	一般名称	色	艶	ホルムアルデヒド 放散等級
中塗り	パステルフレーバー 中塗	遮熱・断熱 ラジカル制御型多彩模様塗料	基準色	—	F☆☆☆☆
上塗り	パステルフレーバー 上塗			艶有・艶消し	F☆☆☆☆

標準施工仕様書					
---------	--	--	--	--	--

■ローラー塗装仕様

工程	材料・調合		施工用具・条件	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
(下塗り)	新築下地や下地の種類・状態によって、シーラーが必要な場合があります。					
中塗り	パステルフレーバー 中塗	主材:15kg 清水:0～0.3L	ウールローラー、はけ等	1※	3以上	68～83㎡/15kg 0.18～0.22kg/㎡
上塗り	パステルフレーバー 上塗	主材:15kg 清水:0.45～1.0L	推奨ローラー、はけ等	1	最終養生 24以上	68～83㎡/15kg 0.18～0.22kg/㎡

注)推奨ローラーについては、施工仕様書をご確認ください。

■吹付け塗装仕様

工程	材料・調合		施工用具・条件	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
(下塗り)	新築下地や下地の種類・状態によって、シーラーが必要な場合があります。					
中塗り	パステルフレーバー 中塗	主材:15kg 清水:0.3～0.75L	万能ガン 口径:5.5mm 吹圧:0.4～0.5MPa	1※	3以上	33～43㎡/15kg 0.36～0.44kg/㎡
上塗り	パステルフレーバー 上塗	主材:15kg 清水:0.75～1.5L	万能ガン 口径:5.5mm 吹圧:0.35～0.45MPa	1	最終養生 24以上	40～53㎡/15kg 0.28～0.38kg/㎡

※下地が隠べいしない場合は2回塗りしてください。中塗が透けた状態になっていると仕上がりにムラを生じる事がありますので、下地が隠べいするまで十分に塗装してください。
注)間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により色調と仕上りに幅を生じることがあります。
注)改修の場合、浮き塗膜の除去、旧塗膜のチョーキング層、ゴミ、塵埃、油脂分などの付着物を高圧洗浄等で完全に除去してください。高圧洗浄後、下地はよく乾燥させてください。
注)施工する場合には、必ず施工仕様書をご確認ください。

■下地処理

下地の種類	推奨下地処理
窯業系サイディング 各種旧塗膜	旧塗膜の表層が劣化・脆弱化している場合、吸い込みの多い下地の場合には、下塗り「キクスイ 浸透性プライマー E」を塗り付けてください。
難密着型窯業サイディング (ふっ素・無機系塗料・光触媒など) 金属サイディングボード	下塗り「キクスイSPパワーシーラー」「ユーティリティプライマー」を塗り付けてください。

下地の種類	推奨下地処理
コンクリート、P C セメントモルタル、スレート等	粗面下地は「B R # 15」等を用いて下地調整を行ってから 下塗り「キクスイ プライマー スーパー E」「キクスイ プライマー スーパー W E」「キクスイ 浸透性プライマー E」を塗り付けてください。
A L C	「キクスイ ファンデ」等を用いて下地調整を行ってから、下塗り「キクスイ プライマー スーパー E」を塗り付けてください。

用途	荷 姿
各種サイディング、旧塗膜の改修	パステルフレーバー 中塗 15kg/缶
新築時の外壁塗	パステルフレーバー 上塗 15kg/缶

**注意点**

掲載製品を取り扱う際は、各製品のSDS及び標準施工仕様書、注意事項を守って施工してください。
※上記の各種製品データは、kikusui ダウンロードサイト (『キクスイダウンロードサイト』を検索) でご確認ください。



天然石のように多彩ないろどりで 外壁をデザインします。

多彩なカラーチップは、外壁のアクセントになり、あなたの街をいろどります。
お住まいの塗り替えで、素敵にココロもリフレッシュ。

Pastel Flavor

パステルフレーバーは

強靱な塗膜で外壁を美しく保ち

「遮熱・断熱」機能で、
大切な家族との居住を守ります。



おすすめ

その1

表現豊かな多彩模様塗料

単色の外壁を多彩模様塗料で塗り替えれば、
美観をワンランクUPすることができます。

おすすめ

その2

高機能で快適な生活環境

「遮熱・断熱」機能をあわせ持つ多彩模様塗料は、
より快適な生活環境を実現します。

おすすめ

その3

ラジカル制御で長く美しい外観

紫外線による塗膜劣化の要因ラジカルを制御し、
外壁の美観を長く維持します。



Pastel Flavor

艶有 艶消し

パステルフレーバー は、アクリルシリコン樹脂にカラーチップを配合した「多彩模様塗料」です。
意匠性だけでなく、遮熱性・断熱性の機能を有しており、主成分のシリコンが高耐候性・低汚染性を発揮します。
また、ローラー施工のため、工事中の騒音や塗料の飛散など近隣様にも配慮しています。

おすすめ

その1

表現豊かな 多彩模様塗料

中塗りのベース色と、上塗りに配合した様々な大きさのカラーチップによって、多彩な色調を表現することができます。特に、単色のデザインサイディングは多彩に塗り替えることで美観をワンランクUPすることができます。

デザインサイディング

【塗り替え例】



単色 → 単色



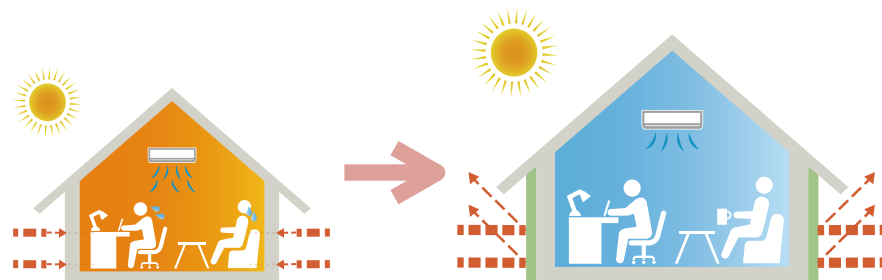
単色 → パステルフレーバー

おすすめ

その2

高機能で 快適な生活環境

遮熱効果で快適な室内空間を実現。

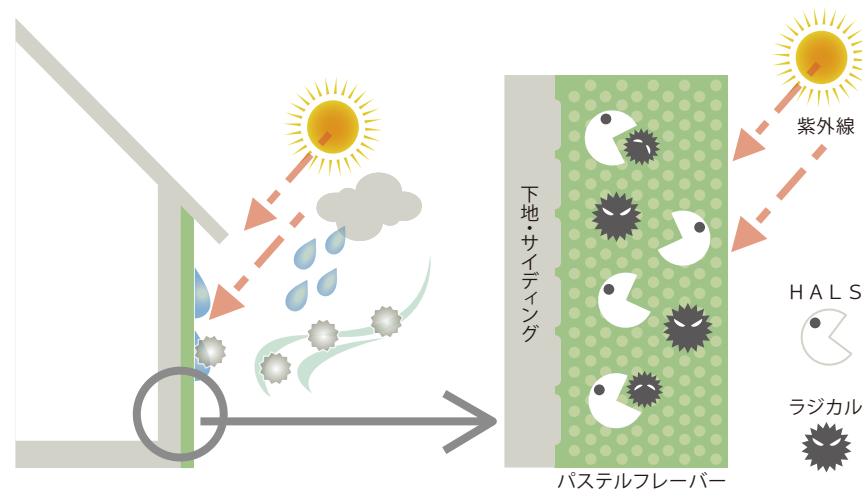


おすすめ

その3

ラジカル制御で 長く美しい外観

光安定剤（HALS）が、紫外線による塗膜劣化の要因であるラジカルを制御、建物を長く美しく保ちます。

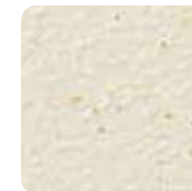


Color Variation

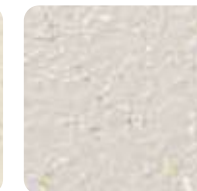
おだやかで繊細な自然色。



Breeze



PF-01



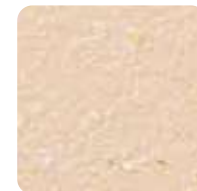
PF-02



PF-03

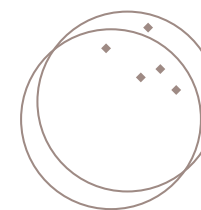


PF-04



PF-05

Earth



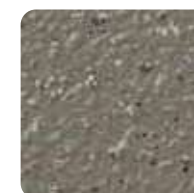
風合いを生かし、大地をイメージ。



PF-06



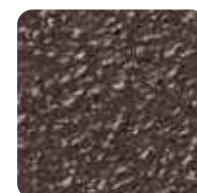
PF-07



PF-08



PF-09

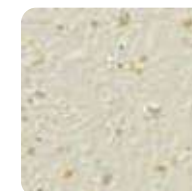


PF-10

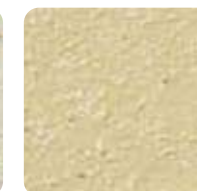
Flowery



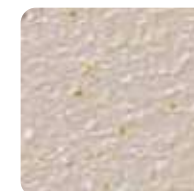
やわらかな色調かつ、華やかに。



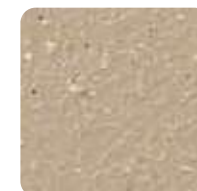
PF-11



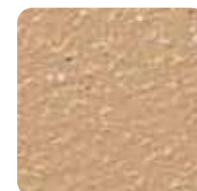
PF-12



PF-13



PF-14



PF-15

Monotone



無機質でシックな仕上がり。



PF-16



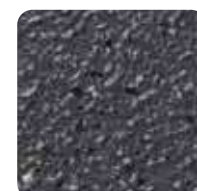
PF-17



PF-18



PF-19



PF-20

（注）この写真は、ローラー塗装・艶有のイメージです。印刷のため、色や艶は多少異なる場合があります。実際の色や艶は、見本板でご確認ください。被塗物の形状や施工用具、施工方法により、仕上がりが異なります。実際の仕上がりについては、試験施工などで事前にご確認ください。

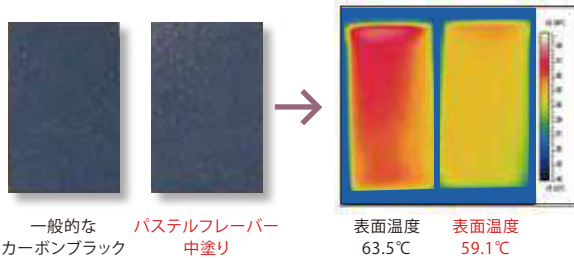
特 長

遮熱性能

専用中塗りに近赤外線領域の反射率が高く、高耐候のチタン系黒色遮熱顔料を使用する事で、優れた遮熱性能を発揮し、外壁の蓄熱を防ぎ、室内に熱が伝わるのを抑えます。

【塗装板表面の温度を測定】

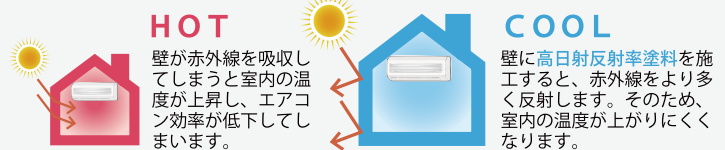
試験内容：サーモグラフィーによる温度差確認
色調：PF-20/艶有
試験場所：岐阜県各務原
日時・天候：2021年8月 晴れ（気温32～33℃）



表面温度が約4～5℃ダウン

※上塗：艶有使用

パステルフレーバーには、近赤外線の波長を反射しやすい特殊な顔料が使用されています。この特殊な顔料で外壁の蓄熱を防ぎ、室内に熱が伝わるのを抑制いたします。

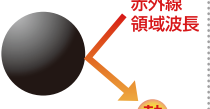


熱を吸収しやすい黒色を、変色がおこりやすい3色の顔料混合で作らず、特殊なチタン系黒色遮熱顔料（無機顔料）を使用しています。

一般的な配合
有機顔料の3原色の混合で黒色を作る。
変色リスクあり



特殊配合
チタン系黒色遮熱顔料（無機顔料）
変色リスク大幅低減



色別日射反射率（波長780～2500nm）

熱を反射させ、外壁の蓄熱を減らすことで、室内に伝わる熱量を抑えられます。また、躯体や下地建材へのダメージも減らすことができます。

日射反射率70%以上

PF-01	PF-02	PF-03	PF-04	PF-05
PF-11	PF-12	PF-13	PF-18	

日射反射率60～70%

PF-06	PF-07	PF-14	PF-15	PF-16
PF-17	PF-19			

日射反射率40～60%

PF-08	PF-09	PF-10	PF-20
-------	-------	-------	-------

試験方法：JIS K 5602に準拠

※カラーNo.は弊社管理No.です。
※遮熱性能は塗料の色調によっても効果に差があります。一般的に、暗い色ほど反射率は低く、明るい薄い色ほど反射率は高くなります。

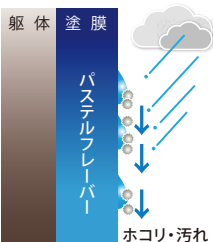
断熱性能

専用中塗りに、硬い殻を持つ特殊中空粒子を使用しています。この中空粒子の中の空気層により熱伝導率を下げる効果があります。



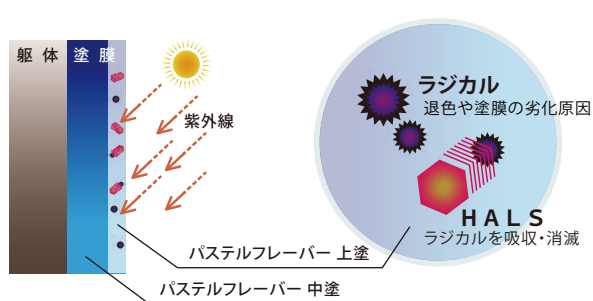
低汚染性

アクリルシリコン樹脂の優れた親水性の性能により、低汚染性を実現します。



高耐候性

上塗りは高耐候性アクリルシリコン樹脂にHALS（光安定剤）、UVA（紫外線吸収剤）を配合。長年にわたり変色や塗膜劣化を抑えます。



期待耐用年数※12～16年。
塗替えサイクルを長く。

※ 期待耐用年数とは、塗替え時期の目安であり、塗膜の耐久性を保証する年数ではありません。塗膜は、主に気象と建物の構造に影響を受けて劣化します。初期段階では、塗膜表層劣化として、光沢低下・変退色・白亜化（チョーキング）・トップコートのひび割れ・剥がれ・膨れなどが確認されます。中期段階では、塗膜劣化として、ひび割れ・剥がれ・膨れ・下地からの浮きなどが確認されます。末期段階になると、下地を含む塗膜全体で、ひび割れ・剥がれ・浮き・白華などが確認されます。この塗膜の劣化段階より、初期・中期段階を塗替え時期の目安として年数区分しています。

施工性

ローラー施工以外に、吹付け施工も可能です。

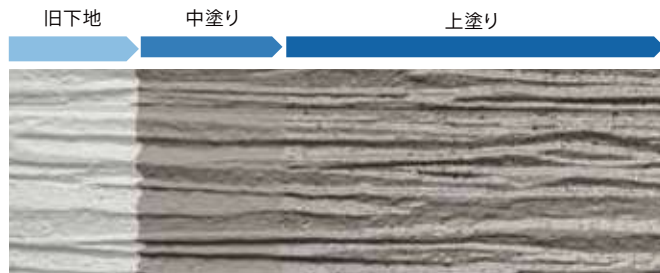
【ローラー塗装の場合】

- 上塗りは推奨ローラーの使用をおすすめします。他のローラーを使用した場合、塗料内のカラーチップが均一に広がらない可能性が高く、施工ムラが発生しやすくなります。
- ローラーネット等を用いて、塗料材料を十分に含ませてから被塗物に塗装材料を配ってください。塗り面に均一に塗り広げる作業を円滑に行ってください。ローラーに含ませた材料が吐き出し終えた状態で、過度に塗り広げを行った場合、カラーチップがよることがあります。
- デザインパネルに塗装する場合は、目地に沿って仕上げてください。

※推奨ローラーについては、施工仕様書をご確認ください。

省 工 程

専用中塗りと上塗りの、2工程で施工出来ます。



※下地の種類によって、下塗りが必要な場合があります。
※中塗りと上塗りは組み合わせの色が決まっています。事前に確認してください。

【吹付け塗装の場合】

- 施工器具は万能ガンを使用してください。
- ガンが塗装面に對し垂直になるように保ち、50cm程度の距離でエア一圧の調整を行いながら正面から塗装してください。斜めからの吹付けは塗料の片寄りや吹きムラの原因となります。

※吹付塗装仕様の場合、ローラー塗装仕様と比べて所要量が多くなると意匠および艶感が変わることがあります。見本板で事前の艶確認をおすすめします。

防藻・防カビ性

藻やカビの発生を抑制します。

微 弾 性

微弾性を有しているので、下地のヘアークラックに追従します。

遮熱・断熱 ラジカル制御型多彩模様塗料 パステルフレーバー

Pastel Flavor

Check ローラー施工方法を動画で紹介しています。



注 意 事 項（水系・顔料着色仕上）

【施工上の注意事項】

《下 地》

- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率10%以下、pH10以下で施工してください。
- かびや藻が発生している場合は、塩素系漂白殺菌剤「K S クリーナー」などで殺菌洗浄を行ってください。
- ALCやコンクリートなどで巣穴、段差がある場合は、セメント系下地調整塗材「B R # 1 5」等で処理してください。
- 無機塗料、特殊下地への塗装及び特殊塗装の場合は、最寄りの弊社営業所にご相談ください。
- 布クロス、紙クロス、汚染防止加工されたクロスには塗装しないでください。剥離を起こす場合があります。
- プラスターボードへの塗装はバテかい部とそれ以外の面で吸込みの違いが生じ、色むらなど仕上がりに影響が出る恐れがあります。下塗りを塗装して均一な状態にしてください。
- ドアのゴムパッキンなど可塑性を含むものやシーリング材への塗装は塗膜の汚染、剥離などが起こる場合があります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
- 合成皮革、ゴムパッキン、軟質塩化ビニル製品などは、塗膜との接触を避けてください。可塑性のブリードによる粘着が起きる場合があります。
- 蓄熱しやすい建材（軽量モルタル、ALC、農業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など）に塗装する場合は、蓄熱や水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで建材の変形、塗膜の膨れ、剥離が生じることがあります。ご採用に当たっては最寄りの営業所にご相談ください。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。
- 《環 境》
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合、（高湿度、結露、降雨等）塗膜表面が白化する場合があります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。また、低温又は高湿度時は、乾燥が遅くなりますので施工を行わないでください。
- 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

《施 工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 塗料は、均一にミキサーで攪拌してから使用してください。
- 材料の希釈量は、所定の希釈量範囲内、所定の所要量で事前に試験塗りなどを行ない決定してください。希釈の過多、不足はダレや隠れ不足、仕上がりの原因になります。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 色、模様決定に当たっては事前に見本板で確認してください。
- 被塗物の形状、膜厚、塗回数、希釈量などの違いにより実際のつやと異なる見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時の塗継ぎ箇所でも起こる場合があります。特に艶調整品は、被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間等により、実際の艶と若干違って見える場合がありますので、試し塗りの上、本施工してください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 傷などで補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを取っておき、同一塗料、同ロット、同一方法で補修してください。
- 他の材料と混合して使用しないでください。
- 水性塗料には動物毛の刷毛は固まり塗装に支障が出ますので化繊の刷毛を使用してください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。

- 溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- シーリング材は可塑性の含まないノンブリードシーリング材を使用してください。シーリング材の上へ直接施工する場合、シーリング材の種類や材齢によって塗膜の汚染、剥離、収縮割れなど不具合を起こすことがあります。詳しくは最寄りの営業所にご相談ください。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。

《材 料》

- つや調整品は、はけ、ローラーでの塗装でムラが出やすくなります。スプレー塗装をお勧めします。
- つや調整品は、塗料が分離しやすいので、よくミキサーで混ぜながらご使用ください。
- 刷毛塗りとローラー塗り、スプレー塗りが混在する場合、施工方法の違いで若干の色相差が生じます。希釈量を調整するなどして塗装してください。
- 濃色や原色に近い色彩では塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などに触れる可能性のある部位への施工は行わないでください。施工する場合は、クリアーによる保護塗装を行ってください。
- 上塗りに黄色、赤色、青色、緑系の彩度の高い色を塗装する場合、隠れ性が不足する場合がありますのであらかじめ中塗りとして共色を塗装してください。
- 希釈した材料を後日使用すると、色相が変わる場合があります。希釈した材料は、その日のうちに使い切るようにしてください。
- 防藻、防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。施工部位の形状、構造、環境条件によっては防藻、防カビ効果が十分に発揮されない場合があります。また、すでにカビ、藻が繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理を行ってください。
- 施工部位により、傾斜壁の下端部、水切りの無い部位、窓周りで水切りが不十分な場合、雨掛りの少ない部位などは低汚染性が十分に発揮されない場合があります。
- 施工後、塗膜が乾燥するまでの間に、塗膜表面に長時間水がかかった状態になると、艶引け、ひび割れ、変色等が発生する場合があります。また、艶消し品や濃色品では低温時、湿度が高い状況下などで塗膜に艶が出たり、白濁、塗膜中成分の流出が起こる場合があります。

《保 管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。

【安全衛生上の注意事項】

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート：JISMSDS)を参照してください。
- 取扱後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- エポキシ樹脂系材料は、皮膚にかぶれを引き起こす恐れがあります。皮膚に付着しないよう特に注意してください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 開封後、やむを得ず保管する場合は無希釈の状態に密栓して冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 缶の取手は手さけ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。